



# かさま

No.472

横浜市立笠間小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kasama/>

## お・あ・し・す

## 児童支援専任

いつもより早い2学期が始まりました。門に立っていると「おはようございます。」の声がいくつも重なり合っていました。登校時の見守り隊の方々や登校班の班長によって、挨拶をする習慣が身に付いてきたように感じます。また、お辞儀をして挨拶ができて子どもたちも多くなりました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症対策



の影響でマスクをして3密に気を付けての登校となり、挨拶の声も響かなくなっています。全国の多くの学校では、挨拶運動として「心のオアシス運動」が行われています。「オアシス」とは、「おはようございます」「ありがとうございます」「しつれいします」「すみません」の頭文字をとったもので、人と人がコミュニケーションを図る上で基本となる言葉です。「失礼します」という言葉は、社会で大切な礼儀なので、これまでも職員室に入るときなどはっきりと言うように指導しています。「ありがとうございます」というお礼の言葉や「すみません」という反省の言葉も同様で、新しく学ぶ言葉ではありませんが、現状では使えていない場合も見られます。ある雑誌の調査で、明るい性格の人に共通していることは、みな明るい言葉づかいになっているということがあったそうです。明るい言葉を使っていると、性格まで明るくなり、人間関係がよくなるということです。明るい言葉づかいとは、簡単にいうと、「はきはきとした挨拶」や「楽しい、嬉しい、ありがとう」という気持ちを表す言葉などです。明るい言葉だけでなく、前向きな言葉も大切です。「自分はできる。」「絶対にうまくいく。」「きっとやれるはず!」「自分を信じる。」「夢は必ず実現する。」などです。前向きな言葉を使うことで、態度まで前向きになります。明るい言葉や前向きな言葉は使った相手だけでなく、その様子を見ていた人にもよい雰囲気を生み出します。「でも」「だって」「けど」という否定的な表現は、「暗い気持ち」になっていきます。一番よくないのは無視をすることです。友達同士だと、そのつもりはなくてもいじめにもなります。学校では、子どもたちは学級で人間関係を育てていきます。明るい前向きな雰囲気をつくっていけるよう支援していきます。

今、子どもたちは感染症対策の中で我慢し、工夫しながら学び、生活をしています。その頑張り力をとるように、こんなときだからこそ、笠間小の教育目標でもある「かがやくひとみ さわやかえがお まごころいっぱい かさまの子」を実践し、困難な状況に負けないで、気持ちから明るくしていきたいと思います。ご家族に「おはようございます」と笑顔で明るく挨拶すること、人に会うたびに、気持ちを言葉で伝えること、授業中には「はい!」と気持ちよく返事すること、そして、「ありがとうございます」や「しつれいします」「すみません」も相手に伝わるような言い方をすることが、子どもたちの心の成長につながると考えます。他にも、「いただきます。」や「おやすみなさい。」など家庭でもぜひ実践をしてみてください。我々教職員は、このような中でも学校が楽しい場となるように考えていきます。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。